

Istanbul Weekly vol. 10-no. 3

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2021年2月12日（金）

— 今週のポイント —

政治：エルドアン大統領、憲法改正に言及。

トルコ政府、ロシア製 S400 ミサイル防衛システムの導入を変更せず。

治安：SNS 上でのテロ組織プロパガンダ容疑で 39 人を逮捕。

社会：2 月 15 日から対面式授業を一部再開。

新型コロナ、約 3.5% の人がワクチン接種。60% 以上へのワクチン接種を目指す。

注：経済関連のニュースにつきましては、トルコ日本人商工会連絡協議会 (JBGT) が JETRO イスタンブール事務所から発出されている「JBGT コロナウイルス感染症関連情報」をご参照ください。

政治

【内政】

●ボアジチ大学関係

・ボアジチ大学前での展示に対して捜査開始

1 月 30 日、イスタンブール市検察は、イスラーム教の聖地であるカーバ神殿と LGBT フラッグを描いた絵画がボアジチ大学前に展示された件に関し、4 人を拘束。(1 月 30 日付け [Q](#))

同日、ソイル内相は、自身の Twitter 上で LGBT に対する批判を投稿。Twitter 社は、同大臣の投稿がヘイトスピーチにあたるとして一部の国・地域で削除。(1 月 30 日付け [Q](#))

・ボアジチ大学新学長の任命に対する抗議活動継続

2 日、ボアジチ大学の教職員は、同大学キャンパス内で、前日の抗議活動で 159 人が拘束されたことに対する抗議活動を展開。(2 月 2 日付け [Q](#))

・野党関係者、ボアジチ大学新学長の辞任を要求

2 日、クルチダルオール CHP 党首は、抗議活動参加者が拘束されたことを受け、大学の学生・教職員が認めていない人物が学長に就任するべきではないとし、ブル新学長は辞任すべきであると発言。(2 月 2 日付け [Q](#))

・ボアジチ大学新学長、辞任を否定

3 日、ブル・ボアジチ大学新学長は、同大学の学生・教職員を中心とした抗議活動が継続する中、辞任の意向はないと発言。(2 月 3 日付け [HDN](#))

・エルドアン大統領、抗議活動の参加者を「テロリスト」と発言

3 日、エルドアン大統領は、ボアジチ大学における抗議活動の参加者をテロリストと発言。同日、パフチェリ MHP 党首は、抗議活動に参加する学生をテロリストと発言。(2 月 3 日付け [Q](#))

・トルコ外務省、ボアジチ大学抗議活動に関する批判に反論

4 日、トルコ外務省は、ボアジチ大学における抗議活動への対応に関する国内外からの批判に対して反論。トルコ憲法によって集会の自由及び表現の自由は保障されているとした上で、抗議活動の参加者の一部がテロ組織と関連していることを理由に治安当局の対応を擁護。(2 月 4 日付け [トルコ外務省](#))

・アルトウン大統領府広報部長、ボアジチ大学に関する声明を发出

4 日、アルトウン大統領府広報部長は、ボアジチ大学における抗議活動に関する声明を英語で发出。抗議活動の参加者の一部にテロ組織関係者がいると述べ、治安当局による取り締まりを擁護。(2 月 4 日付け [YouTube](#))

・マフィア組織のリーダー、ブル新学長を支持

8 日、マフィア組織のリーダーであるチャクジュ氏は、ブル・ボアジチ大学新学長が辞任することでテロリストの活動が活発化すると述べ、同学長を支持すると発言。(2 月 8 日付け [Q](#))

●憲法改正議論

・エルドアン大統領、憲法改正の可能性に言及

1 日、エルドアン大統領は、MHP と合意した場合、現行憲法の改正提案を行う可能性に言及。(2 月 1 日付け [トルコ大統領府](#))

・トルコ大国民議会議長、パフチェリ MHP 党首、エルドアン大統領の憲法改正を支持する旨発言

1 日、シントプ・トルコ大国民議会議長は、政治、国際関係、貿易などの分野における様々な変化に対応する必要があるとし、憲法改正を支持する旨発言。(2 月 2 日付け [DS](#))

2 日、パフチェリ MHP 党首は、エルドアン大統領が目指す憲法

改正を支持すると発言。(2月2日付け [DS](#))

●クルチダルオール CHP 党首、憲法改正に反対

4日、クルチダルオール CHP 党首は、エルドアン大統領が憲法を改正する姿勢を見せていることにに対し、現在の憲法を遵守しない限り、憲法改正の議論を実施することはできないと発言。また、同党首は、テロ組織を支援しているとの理由で AKP と MHP が非難している HDP について、法律に則って設立された政党であるとして、今後も関係者と会談を実施すると発言。(2月4日付け [C](#))

●新党結成

●インジェ氏、CHP を離党

8日、2018年の大統領選挙に出馬したインジェ氏は、所属政党の CHP を離党し、新党を結成すると発表。(2月8日付け [C](#))

●新たに元議員 2 人が CHP を離党

10日、CHP 所属の元国会議員であるドゥドゥ氏及びアカルン氏は、CHP を離党し、インジェ氏が設立した新党に入党。(2月10日付け [C](#))

●インジェ氏、新党の設立時期に言及

11日、CHP からの離党を発表したインジェ氏は、自身が中心となる新党の設立時期に関して、現時点では、5月19日で、早期に設立が可能であれば4月23日となると発言。(2月12日付け [C](#))

●財務副大臣交代

1月30日、エルドアン大統領は、ディンチバシュ財務副大臣及びアクス財務副大臣を解任。後任に、ヤビリオール氏、ギュル氏を任命。(1月30日付け [Bloomberg](#))

●最新の支持率調査結果、公表

2日、Avrasya 研究所は、政党別の支持率及び次期大統領候補の支持率に関する調査結果を発表。政党別の支持率では、与党(AKP・MHP)は43.7%となった。次期大統領選挙における各候補の支持率は、イマムオール・イスタンブール市長とエルドアン大統領が出馬する場合、それぞれ42.6%、37%。ヤヴァシュ・アンカラ市長とエルドアン大統領が出馬する場合、それぞれ43.9%、36.5%。(2月2日付け [C](#))

●エルドアン大統領、2023 年大統領選挙の重要性に言及

8日、エルドアン大統領は、AKP 支部における演説で、2023年の大統領選挙の重要性に言及。また、同大統領は、CHP は、野党として十分に機能しておらず、崩壊し始めていると非難。(2月8日付け [SZ](#))

●YHT 計画、建設費用を上方修正

8日、アケン CHP 副党首は、高速鉄道プロジェクト(YHT 計画)における、チェルケズキョイ市・ハルカル市間の鉄道建設費用が当初の31億トルコ・リラから77億トルコ・リラに大幅に修正されたと発表。同氏は、カナル・イスタンブール・プロジェクトが計画の変更の原因であると指摘。(2月8日付け [C](#))

●イマムオール市長、AKP 議員提案を拒否

8日、イマムオール・イスタンブール市長は、市議会議員から提出された113件の提案中、AKP 議員が多く所属する議員団からの8提案に対し、拒否権を行使。これら8提案は、再度市

議会にて検討される予定。(2月8日付け [C](#))

●ベルペロール元 CHP 副党首に対する裁判、再審決定

8日、高等裁判所は、国家機密情報を漏洩した罪に問われているベルペロール元 CHP 副党首に対する裁判の再審を許可。(2月8日付け [DS](#))

●エルドアン大統領、国家宇宙計画を発表

9日、エルドアン大統領は、国家宇宙計画を発表。同計画は、トルコ共和国建国100周年に当たる2023年に月との最初のコンタクトを目標とすることなどを含む。(2月9日付け [AA](#))

●アクシェネル優良党党首、トルコ政府の経済政策を批判

9日、アクシェネル優良党党首は、エルドアン大統領が与党支持者の関心に注目し、その他の国民の要望にできていないと批判。また、同党首は、新型コロナウイルス用ワクチンについて、中国とのみビジネスを展開し、Biotech 社からのワクチン購入ができなかったと批判。(2月9日付け [HDN](#))

●バフチェリ MHP 党首、次期党首選に出馬

11日、バフチェリ MHP 党首は、3月18日に予定されている MHP の次期党首選挙に出馬すると発表。(2月11日付け [HDN](#))

【外交】

●トルコ・米関係

●カルン報道官、サリヴァン米国国家安全保障問題大統領補佐官と電話会談

2日、カルン大統領府報道官は、サリヴァン米国国家安全保障担当補佐官と電話会談を実施し、二国間関係、シリア、リビア、東地中海などの問題について議論。ロシア製 S400 ミサイル購入をめぐる問題等の解決に向けて共同の取組みが必要と言及。(2月2日付け [トルコ大統領府](#))

●クルチ駐米トルコ大使の送別イベント、米国で開催

3日、在米トルコ人団体及び協会は、離任が決定したクルチ駐米トルコ大使の送別イベントをオンラインで開催。同大使は、演説で、米国在住のトルコ人に向け、更なる結束を呼びかけ。(2月4日付け [DS](#))

●トルコ外務省、米・露間「START」延長合意を歓迎

4日、アクソイ・トルコ外務省報道官は、米国とロシアが、2021年2月5日に期限を迎える「新戦略兵器削減条約(New START)」を5年間延長することに合意したことを歓迎。(2月4日付け [トルコ外務省](#))

●クーデター未遂事件に関するソイル内相の発言が物議を醸す

2日、ソイル内相は、出演したテレビ番組内で、ギュレン系団体(FETÖ)は2016年に発生したクーデター未遂事件に関与しておらず、米国の関与を示唆する発言を行い、同発言が物議を醸す。(2月3日付け [C](#))

●米国国務省、クーデター未遂事件への関与を否定

5日、プライス米国国務省報道官は、ソイル内相が2016年のクーデター未遂事件における米国の関与を示唆したことを受け、米国の関与を否定。(2月5日付け [AA](#))

●アカル国防相、米国に YPG への支援停止を要求

9日、アカル国防相は、PKK と PYG は異なる組織であるとの

米国の認識について、現実に即していないとして、トルコ・米国関係の発展には、米国による YPG への支援停止が必要である旨発言。(2月9日付け [HDN](#))

・トルコ政府、ロシア製防衛システムの導入に変更なし

11日、カルン大統領府報道官は、米国による対トルコ制裁の原因となっているロシア製 S400 ミサイル防衛システムの導入を撤回しないと発言。同報道官は、北大西洋条約機構(NATO)との問題に関して、対話を通じた解決を目指すと言。(2月11日付け [DS](#))

・トルコ・米国海軍、黒海で合同演習実施

12日、トルコ海軍は、黒海において、米国海軍と合同演習を実施。駐トルコ米大使は、「NATO の同盟国として、我々(トルコと米国)は、欧州及び中東の平和と安定へのコミットメントを共有する」と発言。(2月12日付け [AA](#))

・米国国務省報道官によるカヴァラ氏に関する声明に反論

12日、アクソイ・トルコ外務省報道官は、米国国務省報道官が2013年ゲジ公園事件及び2016年クーデター未遂事件への関与により拘束されているカヴァラ氏の釈放を求めたことに対し、同氏は、独立した裁判所による司法手続きの最中であるとし、法治国家であるトルコの司法手続きを尊重するべきであると反論。(2月12日付け [トルコ外務省](#))

●トルコ・欧州関係

・エルドアン大統領、ラシェット CDU 党首と電話会談を実施

1月30日、エルドアン大統領は、独キリスト教民主同盟(CDU)のラシェット新党首と電話会談を実施。エルドアン大統領は、メルケル首相との間で築かれた二国間の緊密な関係が今後も継続すること、ラシェット新党首がトルコ・EU 関係に貢献することを期待すると発言。(1月30日付け [トルコ大統領府](#))

・チャヴシュオール外相、「北キプロス・トルコ共和国」を訪問

1日から2日間、チャヴィシオール外相は、「北キプロス・トルコ共和国」(トルコのみ国家承認)を訪問し、サナー首相、エルトゥールル外相、センナルオール共和国議会議長とそれぞれ会談を実施し、キプロス問題などを協議。(2月2日付け [トルコ外務省](#))

・駐トルコ仏大使、二国間関係の改善を期待

2日、マクロ駐トルコ仏大使は、戦略的で正常な対話を期待すると発言。同大使は、2021年が、現在の両国関係の基礎となるアンカラ条約締結の100周年にあたることに言及し、共同行事を開催する意向を表明。(2月2日付け [HDN](#))

・トルコ外務省、コンボ共和国を非難

2日、アクソイ・トルコ外務省報道官は、イスラエルと国交を樹立したコンボ共和国がエルサレムに同国の大使館を開設することに対し、国連決議を含む国際法に反する行為だとして非難。(2月2日付け [トルコ外務省](#))

・トルコ、ドイツとの防衛・安全保障協力関係を強化

3日、アカル国防相はベルリンを訪問し、カレンバウワー独国防相と会談を実施。両者は、防衛・安全保障分野における二国間協力関係の強化について合意。カレンバウワー独国防相は、トルコは依然として北大西洋条約機構(NATO)の重要な同盟国であると発言。(2月3日付け [DS](#))

・トルコ、ハンガリーとの防衛・安全保障協力関係を強化

4日、アカル国防相は、ブダペストを訪問し、ベンコ・ハンガリー国防相と会談を実施。両者は、防衛・安全保障分野における二国間協力関係の強化について合意。会談では、エーゲ海、バルカン半島、アゼルバイジャン、リビア、アフガニスタンに関して協議を実施。(2月4日付け [HDN](#))

・エルドアン大統領、メルケル独首相と電話会談を実施

8日、エルドアン大統領は、メルケル独首相と電話会談を実施し、トルコ政府は、EUとの関係の改善に努力すると発言。同大統領は、3月に予定されているEU首脳会議に先立ち、会談を実施したいと発言。また、同大統領は、2016年3月8日に締結された難民受入れ合意の見直しを行う必要性にも言及。(2月8日付け [DS](#))

・ジョージア、トルコとの友好関係を称賛

8日、トルコ・ジョージアの外交関係樹立100周年を受け、ザルカリアニ・ジョージア外相は、二国間の戦略的友好関係が発展していることを称賛。トルコは、ジョージア最大の貿易相手国であり、自由貿易協定を含む多数の二国間条約を締結。(2月9日付け [DS](#))

・オクタイ副大統領、「北キプロス・トルコ共和国」を訪問

10日から2日間、オクタイ副大統領は、カライスマイルオール運輸・インフラ相、アルトゥン大統領府広報部長らと共に、「北キプロス・トルコ共和国」(トルコのみ国家承認)を訪問。同副大統領は、キプロス問題における二国解決の必要性に言及。(2月11日付け [DS](#))

・エルドアン大統領、ギリシャにトルコを攻撃しないことを要求

10日、エルドアン大統領は、ミツオタキス・ギリシャ首相が、(キプロスの)トルコによる占領を終わらせ、実行可能な解決策を見つけることがギリシャの基本的な外交政策の優先事項であると発言したことを受け、同首相に対して、二国間の対話継続を希望するのであれば、トルコを標的として攻撃することを停止するべきであると発言。(2月10日付け [DS](#))

・CHP、トルコの EU 加盟プロセスの再検討を要求

12日、クルチダルオール CHP 党首は、トルコが EU 外交政策の文脈の中でのみ議題に上がり、トルコの EU 加盟プロセスが欧州理事会において言及されていないことに懸念を示し、EUに対し、停滞している EU 加盟プロセスの再活性化を要求。(2月12日付け [HDN](#))

●トルコ・リビア関係

・トルコ外務省、リビア暫定政権設立を歓迎

5日、トルコ外務省は、リビア政治対話フォーラム(LPDF)にて実施されたリビア暫定行政機関に関する投票を歓迎すると発表。ドバイバ政権は、2021年12月24日に実施予定の大統領・議会選挙まで政権を運営する予定。(2月5日付け [トルコ外務省](#))

・エルドアン大統領、ドバイバ・リビア首相と電話会談を実施

6日、エルドアン大統領は、リビア暫定行政機関で当選したアル・マンフィ首脳評議会代表及びドバイバ首相と電話会談を実施。同大統領は、トルコ政府は、引き続きリビアを支援すると発言。(2月6日付け [トルコ大統領府](#))

●トルコ・アゼルバイジャン関係

・ナゴルノ・カラバフ地域の停戦監視施設運用開始

1月30日、トルコ軍は、ロシア軍と共同でナゴルノ・カラバフ地域での停戦監視施設の運用を開始。同施設には、トルコ軍及びロシア軍からそれぞれ60人が駐留。開所式には、カラオスマンオール国防副大臣などが列席。(1月30日付け [HDN](#))

・MHP 議員団、アゼルバイジャンを訪問

2日、カラカヤ MHP 副党首、ギュナイデン MHP 党首顧問などの MHP 議員団は、アゼルバイジャンを訪問し、アリエフ・アゼルバイジャン大統領と会談を実施し、1月16日、バフチェリ MHP 党首が発表した学校建設プロジェクトを協議。(2月2日付け [DS](#))

●トルコ外務省、ミャンマーの軍事クーデターを非難

1日、トルコ外務省は、ミャンマーで発生した軍事クーデターを非難し、クーデターによって拘束された政治家及び一般市民を解放するよう要求。(2月1日付け [DS](#))

●第18回 MIKTA 外相会合開催

3日、メキシコ、インドネシア、韓国、トルコ、オーストラリア (MIKTA) 外相は、オンラインで第18回 MIKTA 外相会合を開催し、新型コロナウイルス対策で協力関係を強化する旨の声明を発表。(2月3日付け [トルコ外務省](#))

●チャヴシュオール外相、複数の外相と電話会談を実施

8日、チャヴシュオール外相は、フセイン・イラク外相、ジェラディ・チュニジア外相、ザハリエヴァ・ブルガリア外相とそれぞれ電話会談を実施。(2月9日付け [AA](#))

●チャヴシュオール外相、湾岸諸国を公式訪問

9日、チャヴシュオール外相は、クウェートを訪問し、アル＝サバーハ首長、アル＝サバーハ首相、アル＝サバーハ外相とそれぞれ会談を実施。チャヴシュオール外相は、アル＝サバーハ首長との会談において、クウェート政府の湾岸諸国の安定への貢献に対し、感謝の意を表明。(2月9日付け [トルコ外務省](#))

10日には、オマーンを訪問し、アル＝サイード閣僚評議会担当副首相、アル＝ブサイディ外相とそれぞれ会談を実施。チャヴシュオール外相は、トルコ企業によるオマーン市場進出の増加に触れ、二国間の経済関係の発展に期待すると発言。(2月10日付け [トルコ外務省](#))

また、11日には、カタールを訪問し、アル＝サーニー首長、アル＝サーニー外相とそれぞれ会談を実施。チャヴシュオール外相は、カタールに対する封鎖問題の解決に向けた進展を歓迎し、二国間関係の更なる発展を期待すると発言。(2月11日付け [トルコ外務省](#))

治安

●テロ関係

・FETÖ 高官をアンカラ市で逮捕

1月30日、トルコ軍警察は、アンカラ市で、4年間指名手配中であった FETÖ 高官を逮捕。(1月30日付け [AA](#))

・ISIL との関与容疑で外国人 3 人を逮捕

2日、トルコ北部サムスン県警察は、ISIL との関連容疑でイラク国籍者 3 人を逮捕。(2月2日付け [DS](#))

・FETÖ 関係者 344 人の逮捕状発布

2日、トルコ治安当局は、ギュレン系団体 (FETÖ) 関係者 344 人の逮捕状が発布されたと発表。(2月2日付け [AA](#))

・ヨルダン国籍の ISIL 高官を逮捕

3日、トルコ治安当局は、トルコ北部サカルヤ県でヨルダン国籍の ISIL 高官を逮捕。(2月3日付け [DS](#))

・治安当局、南部 3 県にて新テロ対策を開始

8日、ソイル内相は、ハタイ県、オスマニエ県、ガズィアンテプ県南部において、新たな対テロ作戦を実施すると発表。同作戦には、軍警察、警察、軍から1,670人以上の職員が参加。(2月8日付け [AA](#))

・FETÖ 関係者多数を逮捕

8日、トルコ治安当局は、38県において一斉摘発を実施し、ギュレン系団体 (FETÖ) 関係者多数を逮捕。(2月8日付け [AA](#))

・SNS 上でのテロ組織プロパガンダ容疑で 39 人を逮捕

8日、トルコ治安当局は、ソーシャル・メディア (SNS) 上で、テロ組織に関するプロパガンダを行なったとして、39人を逮捕。トルコ治安当局は、2月第1週で PKK、FETÖ、ISIL 関連の1,200以上のアカウントを凍結。(2月9日付け [AA](#))

・治安当局、ハツキヤリ県にて新テロ対策を開始

10日、ソイル内相は、ハツキヤリ県において、新たな対テロ作戦を開始すると発表。同作戦には、軍警察、警察、軍から2,200人以上の職員が参加。(2月10日付け [AA](#))

・FETÖ 関係者 27 人を逮捕

9日、トルコ治安当局は、全国15県で対テロ作戦を実行し、ギュレン系団体 (FETÖ) 関連容疑で27人を逮捕。(2月9日付け [AA](#))

・治安当局、DHKP-C 高官を逮捕

12日、トルコ治安当局は、イスタンブール市サリエル区で極左テロ組織「革命的人民解放党・戦線 (DHKP-C)」の高官を逮捕。(2月12日付け [AA](#))

・治安当局、シュルナク県・スィイルト県で新テロ対策を開始

12日、トルコ治安当局は、シュルナク県及びスィイルト県で新たな対テロ作戦を実施すると発表。同作戦には、軍警察、警察、軍から1073人以上の職員が参加。(2月12日付け [AA](#))

●イスタンブール市で歴史的遺物を押収

2日、トルコ治安当局は、イスタンブール市で、ビザンツ帝国及びオスマン帝国時代の遺物71点を押収し、盗掘容疑で2人を逮捕したと発表。(2月2日付け [AA](#))

●イスタンブール市の一部地域で集会を禁止

2日、イスタンブール市は、カドウキョイ地区における抗議活動及び集会の開催を7日間禁止すると発表。(2月2日付け [C](#))

●240kg以上のヘロイン押収

10日、トルコ治安当局は、ヴアン県において、麻薬犬による捜索で246.1kgのヘロインを押収。(2月10日付け [AA](#))

社会

●自然災害

・イスタンブール市内 3 地区、地震による被害の可能性

1 月 29 日、ボアジチ大学研究グループは、イスタンブール市で起こりうる地震に関して行われた調査結果を公表。同市内シリウリ地区、クンブルガズ地区、ブユクツェクメセ地区の断層の一部に異常があり、地震発生の危険性が高いと分析。(1 月 29 日付け [M](#))

・イズミル県でマグニチュード 5.1 の地震発生

1 日、AFAD は、同日午前 8 時 46 分にイズミル県でマグニチュード 5.1 の地震が発生し、その後マグニチュード 4.8 及び 4.9 の余震が 4 回発生したと発表。震源地は、イズミル県カラブルン地区。(2 月 1 日付け [AFAD](#))

・イズミル市、7 日間で 2 度目の洪水被害

2 日、イズミル市は、7 日間で 2 度目の大雨によって、市内各所で洪水が発生し、673 戸が浸水被害を受けたと発表。同市は、住民に対して不要不急の外出を控えるよう警告。(2 月 2 日付け [HDN](#))

2 日、イズミル市はこの洪水によってメンデレス地区で 1 人が死亡したと発表。(2 月 2 日付け [C](#))

・イスタンブール市で暴風雨発生

9 日未明、イスタンブール市は、同市欧州側複数地区で暴風雨が降ったと発表。フロルヤ駅周辺などで倒木被害が発生し、フェリー運行が一部運休。(2 月 9 日付け [AA](#))

・コンヤ県でマグニチュード 4.7 の地震発生

9 日、AFAD は、同日午後 6 時 51 分にコンヤ県でマグニチュード 4.7 の地震が発生し、その後マグニチュード 4.0 及び 4.1 の余震が発生したと発表。(2 月 9 日付け [AFAD](#))

・イズミル県等で暴風雨発生

12 日、イズミル県知事は、同県で暴風雨が降ったと発表し、16 人が軽傷を負ったと発表。また、同日、バルケシル県でも竜巻が発生し、屋根の破損が 4 件、窓の破損が 12 件、自動車の破損が 20 件、船舶の破損が 4 件発生。(2 月 12 日付け [AA](#))

・カスタモヌ県でマグニチュード 4.5 の地震発生

12 日、AFAD は、同日午前 6 時 37 分にカスタモヌ県でマグニチュード 4.5 の地震が発生したと発表。(2 月 12 日付け [AFAD](#))

●新型コロナウイルス

・2 月 15 日から対面式授業を一部再開

2 日、セルチュク教育相は、希望者に限定して、2 月 15 日(月)から一部地方において対面式授業を再開すると発表。同大臣は、3 月 1 日より、特別支援学校、初等教育全学年、8 年生、12 年生の授業を対面式で再開すると発表。(2 月 2 日付け [AA](#))

・対面式授業再開前に教員にワクチン接種

3 日、トルコ政府は、新型コロナウイルス用ワクチンの優先接種の対象となっていない教員に対して、2 月 15 日までに第 1 回目の接種を実施する予定と発表。(2 月 3 日付け [DS](#))

・南アフリカ型、ブラジル型変異種を確認

3 日、コジャ保健相は、2 人が新型コロナウイルスの南アフリカ型変異種、1 名がブラジル型変異種に感染したと発表。(2 月 3 日付け [AA](#))

・医療関係者への二回目のワクチン接種開始予定

7 日、トルコ政府は、医療関係者に対する二回目のワクチン接種を来週から実施すると発表。1 月 14 日の接種開始以降、現時点で医療関係者及び高齢者約 260 万人に一回目のワクチン接種が完了。(2 月 7 日付け [HDN](#))

・高齢者へのワクチン接種開始予定

8 日、トルコ政府は、65 歳以上の高齢者に対するワクチン接種を近日中に開始すると発表。エルドアン大統領、コジャ保健相、パフチェリ MHP 党首は、医療関係者と同時期に二回目のワクチン接種を実施予定。(2 月 8 日付け [DS](#))

・新型コロナウイルス対策違反者、増加

9 日、トルコ政府は、新型コロナウイルス対策で導入されている平日及び週末の外出禁止令の違反者が過去 2 か月で約 35 万人であったと発表。(2 月 9 日付け [HDN](#))

・トルコ政府、人口の 60% へのワクチン接種を目指す

10 日、コジャ保健相は、人口の約 3.5% の人が新型コロナウイルス用ワクチンの接種を受け、60% 以上の人への接種を目指すと言。2 月には、50 万から 80 万回分の BoiNTech 社製ワクチンもトルコに到着すると発表。(2 月 11 日付け [HDN](#))

・高齢者へのワクチン接種開始

11 日、トルコ政府は、65 歳以上の高齢者及びその配偶者(60 歳以上の場合)への新型コロナウイルス用ワクチンの接種を 2 月 12 日(金)から開始すると発表。(2 月 11 日付け [AA](#))

●イスタンブール市、初の女性消防士採用

1 日、イスタンブール市は、同市初の女性の消防士採用を開始。応募者 250 人中 50 人が女性。(2 月 1 日付け [HDN](#))

●2020 年のトルコ人口、8,360 万人に到達

4 日、トルコ国家統計庁(TÜİK)は、2020 年の人口が前年比で約 0.55% 増加し、約 8,360 万人であったと発表。一方、イスタンブール市の人口は、前年から 5 万 6,815 人減少し、約 1,546 万人。(2 月 4 日付け [トルコ国家統計庁](#))

●高等教育の質向上を目指す新プロジェクト開始

4 日、エルドアン大統領は、高等教育の質向上を目的として、アナトリア県に新設された 15 の大学の学生を対象に、国内有数の 12 の大学を退官した教授による授業を提供する新プログラムを開始すると発表。(2 月 4 日付け [DS](#))

●イスタンブール市、地下鉄 2 路線を開通予定

8 日、イマムオール・イスタンブール市長は、同市欧州側ベイリクドゥズ地区とアジア側ペンディック地区を結ぶ全長 72km の地下鉄路線を含む 2 路線工事への入札を 2021 年に開始すると発表。(2 月 8 日付け [DS](#))

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応庁	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID/ISIL	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah
SZ	Sözcü		

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2021.1.30～2021.2.12 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃	盗	詐	欺	ぼったくりバー	高額絨毯購入(相談)		
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2021年	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

★当館 HP 更新のお知らせ★

- [西牧総領事のバシャクシェヒル松と桜都市病院訪問\(報告\)](#)
- [【注意喚起】イズミルにおける日本人傷害被害事案の発生](#)

【新型コロナ関連情報】

- [【広域情報】新型コロナウイルス感染症に関するアイルランド・イスラエル及びブラジル（アマゾンナス州）に対する新たな水際対策措置（2月2日）](#)
- [【広域情報】新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置（検疫強化対象国・地域の追加）（2月10日）](#)
- [【広域情報】新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置（検疫強化対象国・地域の追加）（2月12日）](#)

【その他 領事部】

- [領事窓口業務における予約制の導入について](#)
- [イスタンブール総領事館来館時の HES コード提示について\(1月27日\)\)](#)
- [イズミルにおける領事出張サービスについて\(3月26日\(金\):予定\)](#)

※掲載内容は、トルコの報道等をまとめたものです。